

皆様こんにちは。突然ですが…

変な家、をご存じですか？

一見何の変哲もないごくありふれた民家。しかし間取りを見てみると、この家の奇妙な違和感に気づきます。

やがてあなたは恐ろしく信じたくないような事実にたどり着くでしょう。

オカルト専門のフリーライターとして活動している「私」は仕事柄、怪談話や奇妙な体験談を聞

きます。特に「家」にまつわる話…いわゆるいわくつき物の話は数えきれないほどあります。しかしとある家の話はほかの物とは違っていました。謎の空間。窓が一つもない子供部屋。いったい誰が何のためにこの家を建てたのか。住んでいた住人は何者なのか。真実をご自身の目で確かめてみませんか？



「変な家/雨穴」飛鳥新社



「推し、燃ゆ/宇佐見りん」
河出書房新社

貴方には推しがありますか？

推しというのは人に薦めてしまうほど尊敬したり好感を持っている人物のことを指します。

そんな「推し」がもし炎上してしまったら…？

主人公である高校生のあかりにも「推し」がいます。そしてある日燃えた。つまり炎上してしまったのです。発達障害を抱えており普通に生活できないと感じている彼女、あかり自身にとっての背骨のような存在を失うこと。いったいどのような心境の変化が訪れるのでしょうか。

「推す」を生きがいに行っている人間を描く小説

「推し、燃ゆ」は文章力を高く評価され芥川賞を

史上3番目の若さで受賞されました。
是非手に取って読んでみてください。

表紙画像は出版社より掲載の許諾を得ています。

* 「変な家」は川口市立高等学校電子図書館のみで読むことができます。